

平成30年度 第4回 運営推進会議開催報告書

会議名 大野和光園和らぎの里運営推進会議
施設名 指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里
サービスの種類 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催場所 指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里 地域交流スペース
開催日時 平成30年11月28日(水) 13:30～14:30

<運営推進会議出席者>

利用者の家族 (2名)
地域住民の代表者(春日三丁目上区区長)
地域住民の代表者(大野地区民生児童委員)
大野市市民福祉部 健康長寿課

<施設職員出席者>

和らぎの里施設長
介護課長補佐
介護支援専門員 (会議録作成)

<議事録>

1. 和らぎの里 施設長挨拶

2. 活動報告について

- ・ 入所者、短期利用者状況
- ・ 医療状況
- ・ 行事活動状況
- ・ ボランティア受け入れ状況
- ・ その他の報告
 - ☆事故報告について詳細説明
 - 転倒・転落 8件
 - 留置カテーテル抜去 1件
- ・ 研修内容

3. 活動報告への質問や意見、その他意見交換

☆Q 相撲観戦、武生菊人形見学、文化祭見学、柳神社祭礼等の行事参加者はどのように決めるのか。
同じ人が何回も行く場合があるのか。

A 利用者に希望を確認し、体調や他行事参加状況等により調整して決めている。
定例になっている行事については、前年の参加状況も確認している。

☆Q 神社などは砂利で大変ではないのか。市で整備できないのか。

A 場所によっては歩行や車椅子操作が難しい所もある。
整備については、確認するとの回答あり。

☆Q 入所待ち170名とは、本体と合わせてか。

A 本体と合わせて170名。
本体、和らぎの里どちらかのみ希望、県外・市外からの申込み者もいる。
施設が増え、ショート利用のキャンセル待ちは減ったが、入所希望は多い。

☆Q 職員1人に対し利用者は何人なのか。

A 利用者3人に対し職員1人、夜間は2ユニット毎に1人以上という配置基準がある。
和らぎの里では基準以上配置している。夜間も3人体制の配置である。

☆Q 夜間、徘徊する人もいるのか。

A 部屋が分からなくなったり、トイレの場所が分からず廊下で放尿したり、コールを何度も押したりと落ち着かない利用者もいる。

☆Q 夜間、事故などが起こった場合の連絡体制は？病院受診の判断は看護師がするのか？

A 看護師が24時間体制をとっている。まず、看護師に連絡し、受診の有無を判断、受診が必要な場合は待機当番者が出勤し対応している。

受診の判断については、看護師及び家族の意向を確認し判断している。

☆Q 介護人材不足解消のため、外国人労働者の受け入れを考えているのか。

介護補助、シルバー、定年延長など考えていかなければならないのでは。

A 外国人労働者の受け入れを行っている施設から、大変な面もあると聞いている。

今年度より女性の年金支給年齢に合わせて、定年が延長になった。

人材が不足しているので、介護の仕事に興味のある人が身近にいたら紹介していただきたい。

次回：平成31年1月23日（水）13:30～ 開催予定